

三郷市子ども司書を目指す皆さんへ

人が、自分らしく豊かに生きていくために、「読書」はとても大切なものです。

皆さんは、本を読んでいる間に「なるほど」と感心したり、「そうかなあ？」と疑問をもったりした経験があると思います。本を読むことで、自然と作者・筆者と対話をしているのです。読書は、時間や場所、立場を超えて、「人」と対話することを可能にします。無言のコミュニケーションです。私たちは、この無言のコミュニケーションを繰り返していくことで、「自分らしさ」を発見します。そして、自分を鍛え、自分を広げていくものです。

また、本を読むことによって、今まで知らなかったことを発見することもあります。本が、新しい「知識」を与えてくれるのです。そして、「知識」と「知識」が結びついて、第三の新しい「知識」を生むこともあります。一つの事実について、「知識」を持つている人とそうでない人とは、感動の仕方が違います。事実と知識を結びつけて、感動することが豊かな人生を送ることにつながっていきます。

「読書」には、タイムリーな出会いが望まれます。課題や興味・感心を持ったときに、めあての「本」にたどり着く「術」を知っている必要があります。皆さんには、その「術」を身につけて欲しいのです。そして、その「術」を自分の隣りにいる友達へ、さらにその隣りにいる友達へと広めていって欲しいのです。

三郷市子ども司書第一期生となる皆さんには、「読書のまち三郷」子ども読書活動のリーダーとして、「人」と「本」との橋渡しとなり、本との素晴らしい出会いを多くの人に広めていくことを期待します。

第一期生の皆さんの健闘を心から祈っています。

平成二十四年六月二十八日

三郷市教育委員会教育長

榎本 幹雄



